

グラフで見る統計あつぎ

— 令和2年版 —

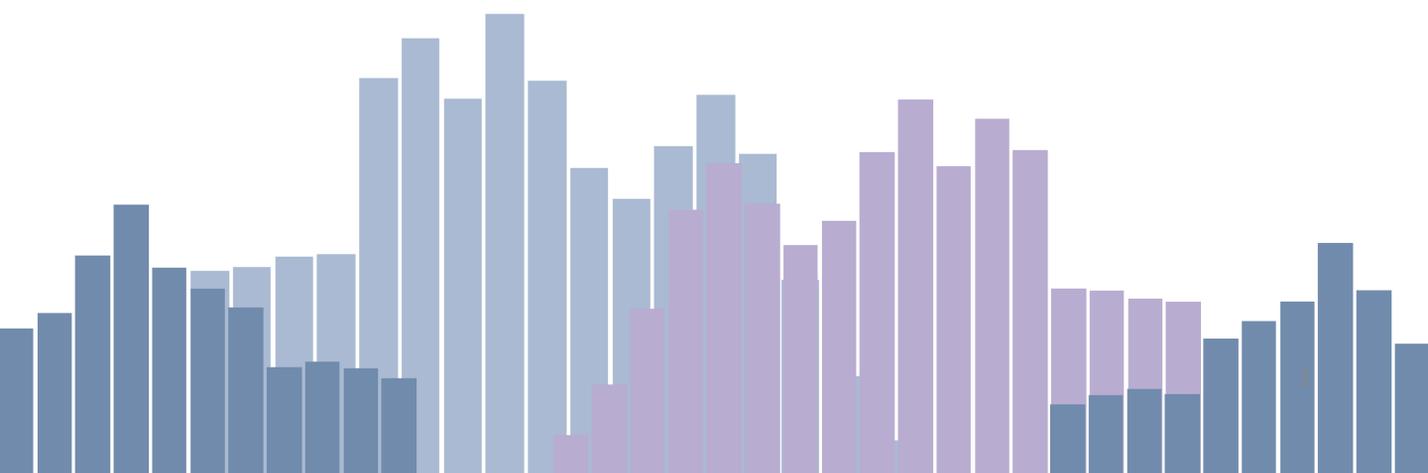
令和2年版統計あつぎをもとに、グラフにして取りまとめました。
参考になっている表番号は下記のように記載しています。

(例)

1 行政区画・土地・気象

■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)

統計あつぎ4頁「5 地目別土地利用状況」を
参考にしています。



— 目次 —

行政区画・土地・気象

- 都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況・・・・・・・・・・・・・ 3
- 月別平均気温と降雨量（令和2年中）・・・・・・・・・・・・・ 3

人口

- 人口と世帯数の推移・・・・・・・・・・・・・ 4
- 外国人住民登録者数の推移等・・・・・・・・・・・・・ 4
- 人口動態（社会動態）の年次別推移・・・・・・・・・・・・・ 5
- 人口動態（社会動態）の月別推移（令和2年中）・・・・・・・・・・・・・ 5
- 人口動態（自然動態）の年次別推移・・・・・・・・・・・・・ 6
- 人口動態（自然動態）の月別推移（令和2年中）・・・・・・・・・・・・・ 6
- 年齢別各歳人口の推移（県年齢別人口統計調査）・・・・・・・・・・・・・ 7

事業所

- 事業所数及び従業者数の推移・・・・・・・・・・・・・ 8
- 従業者規模別事業所数・・・・・・・・・・・・・ 8
- 産業大分類別事業所数（平成28年6月1日現在）・・・・・・・・・・・・・ 9
- 産業大分類別従業者数規模別事業所数（市内シェア上位5分類）・・・・ 9

工業

- 従業者規模別事業所数の推移・・・・・・・・・・・・・ 10
- 従業者規模別従業者数の推移・・・・・・・・・・・・・ 10

商業・観光・金融

- 観光客数及び消費額・・・・・・・・・・・・・ 11

農林業

- 水稻・小麦作付面積及び収穫量・・・・・・・・・・・・・ 12

交通・通信

- 市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)・・・・・・・・・・・・・ 12
- 高速道路インターチェンジ利用状況の推移・・・・・・・・・・・・・ 13
- 平成31年（令和元年）月別利用状況の推移・・・・・・・・・・・・・ 13

教育・文化・宗教 社会福祉・労働

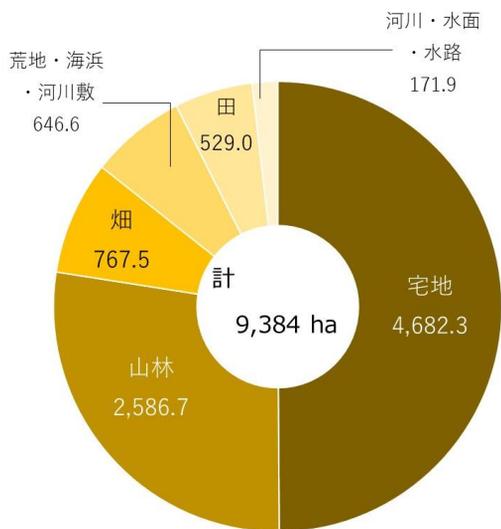
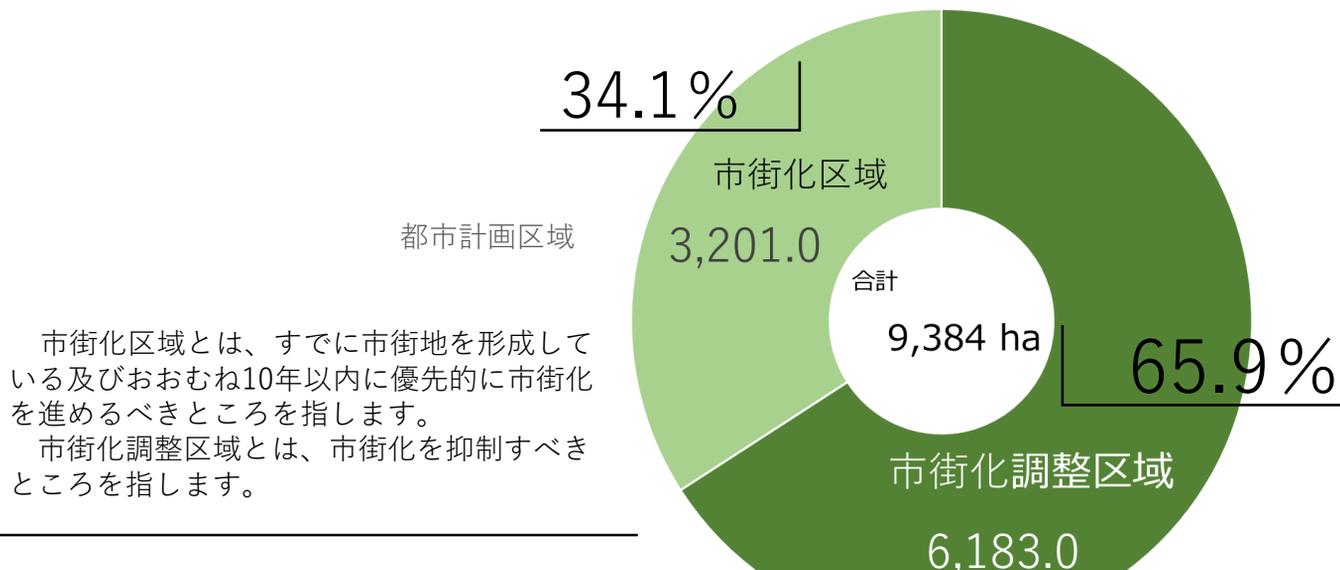
- 保育園児数及び幼稚園児数の推移・・・・・・・・・・・・・ 14
- 保育園児数及び保育園定員の推移・・・・・・・・・・・・・ 14
- 生活保護者数の推移・・・・・・・・・・・・・ 15
- 障がい者数の推移・・・・・・・・・・・・・ 15

治安・災害

- 火災発生件数の推移・・・・・・・・・・・・・ 16
- 救急業務出動状況の推移・・・・・・・・・・・・・ 16

1 行政区画・土地・気象

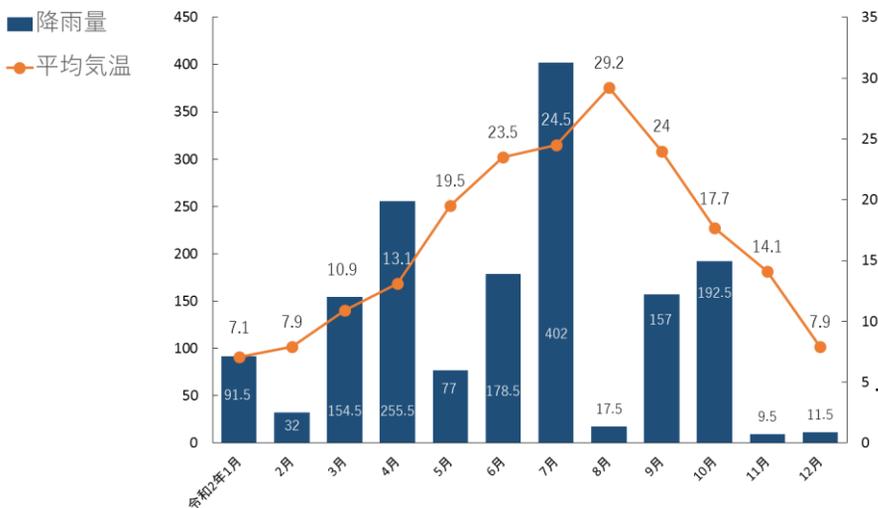
■都市計画区域の割合及び地目別土地利用状況(5)



地目別土地利用状況

市内の土地面積に対して**宅地が約5割**を占めています。

■月別平均気温と降雨量(令和2年中)(8)



最高気温を記録したのは、8月16日の37.0°Cで、最低気温を記録したのは、2月7日の-2.0°C
令和2年の梅雨明けは8月1日頃でした。

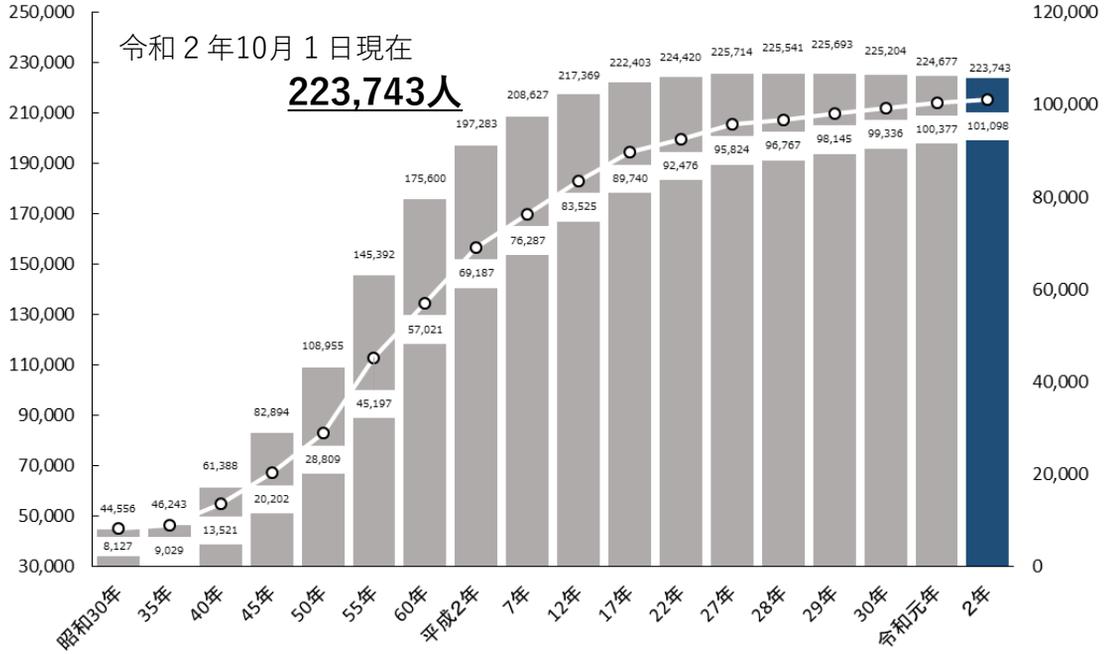
2 人口

■人口と世帯数の推移(9)

昭和30年～令和2年

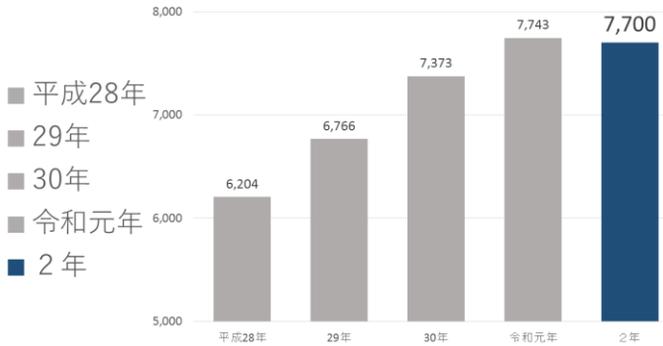
■ 人口（総数）

○ 世帯数



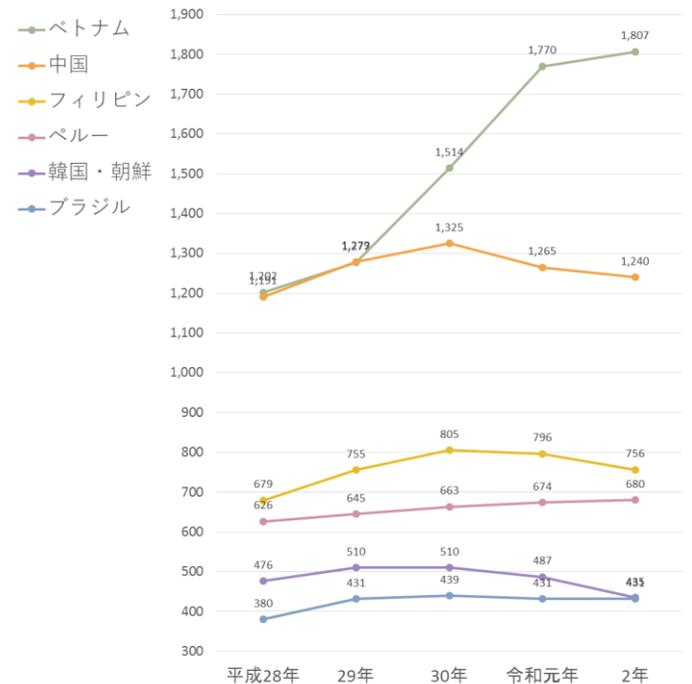
■外国人住民登録者数の推移等(11)

外国人住民登録者数の年次推移

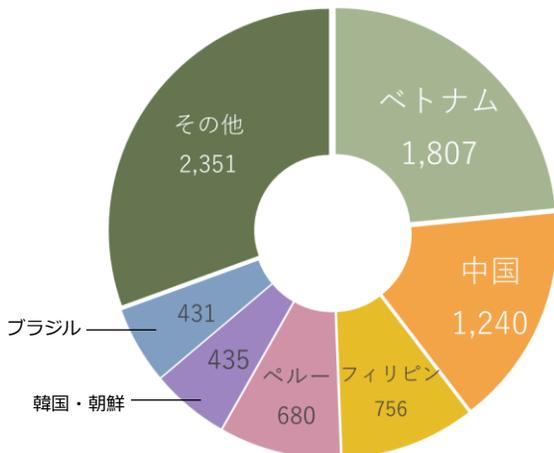


ここ数年は増加傾向でしたが、**令和2年は若干減少**しました。

外国人住民登録者数国籍別の推移



令和2年外国人住民登録者国籍別の割合

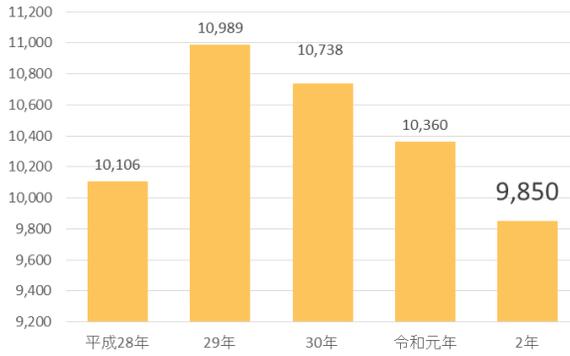


外国人の中でも、**ベトナム人**が顕著に増加しています。

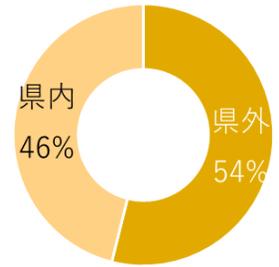
■人口動態(社会動態)の年次別推移(17)

転入者数の推移

■ 転入



令和2年中の転入者数の県内外割合

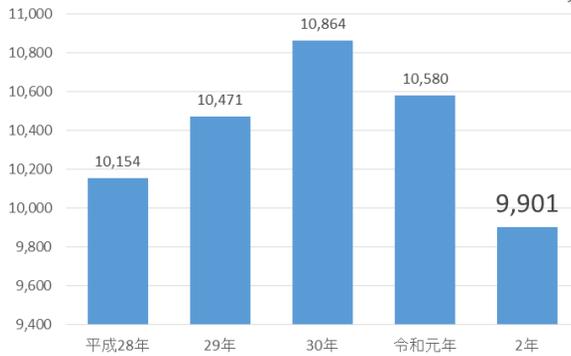


今年は転入・転出ともに例年より減少

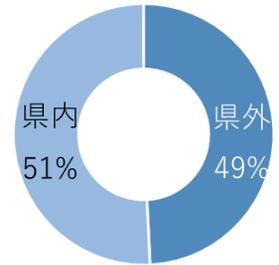
$$\text{転入者数} - \text{転出者数} = -51\text{人}$$

転出者数の推移

■ 転出

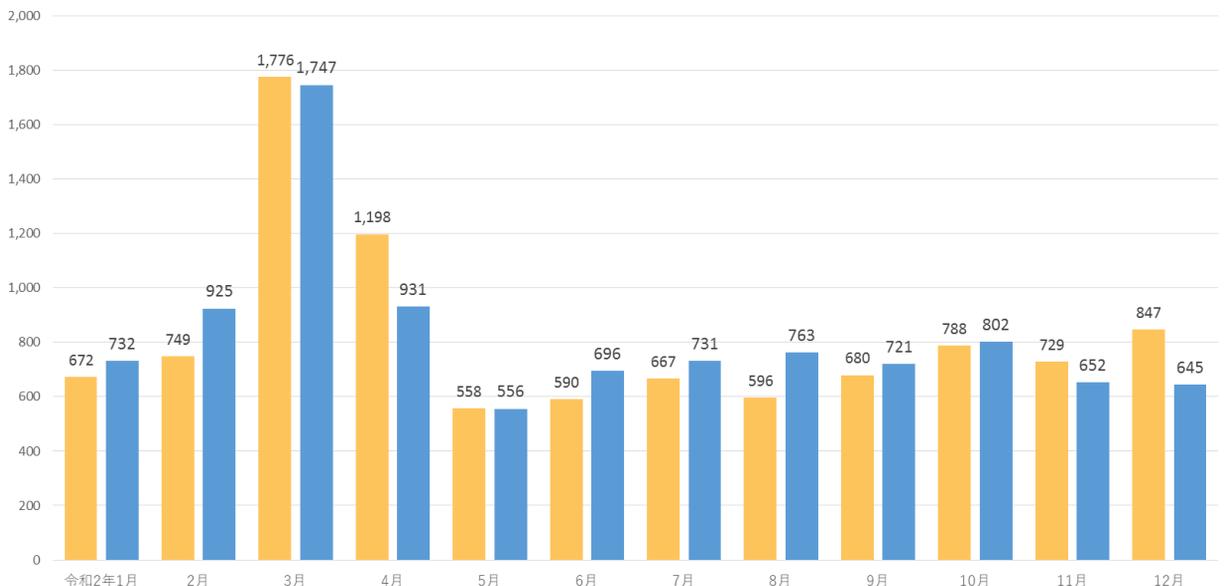


令和2年中の転出者数の県内外割合



■人口動態(社会動態)の月別推移(令和2年中)(17)

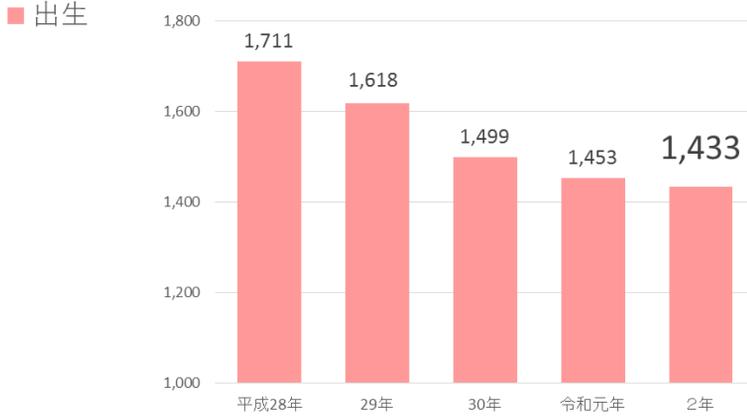
令和2年中の月別転入者数及び転出者数の推移 ■ 転入 総数 ■ 転出 総数



3月の転出入者数と月別転出入者数の平均を比べると、**およそ2倍**となっています。

■人口動態(自然動態)の年次別推移(17)

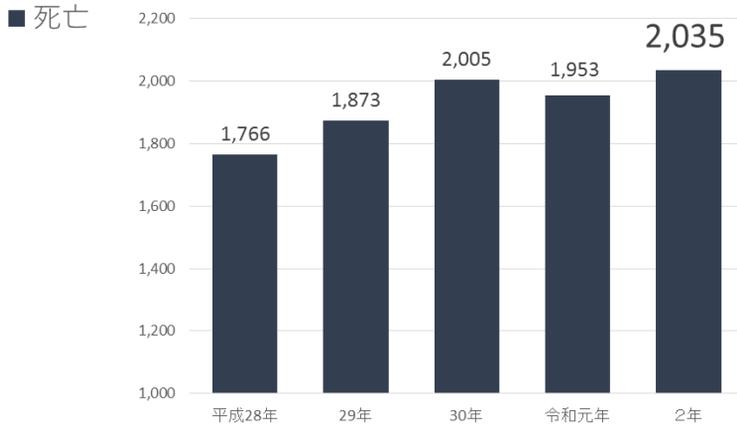
出生者数の推移



出生者数より死亡者数が上回る、

死亡超過の状態

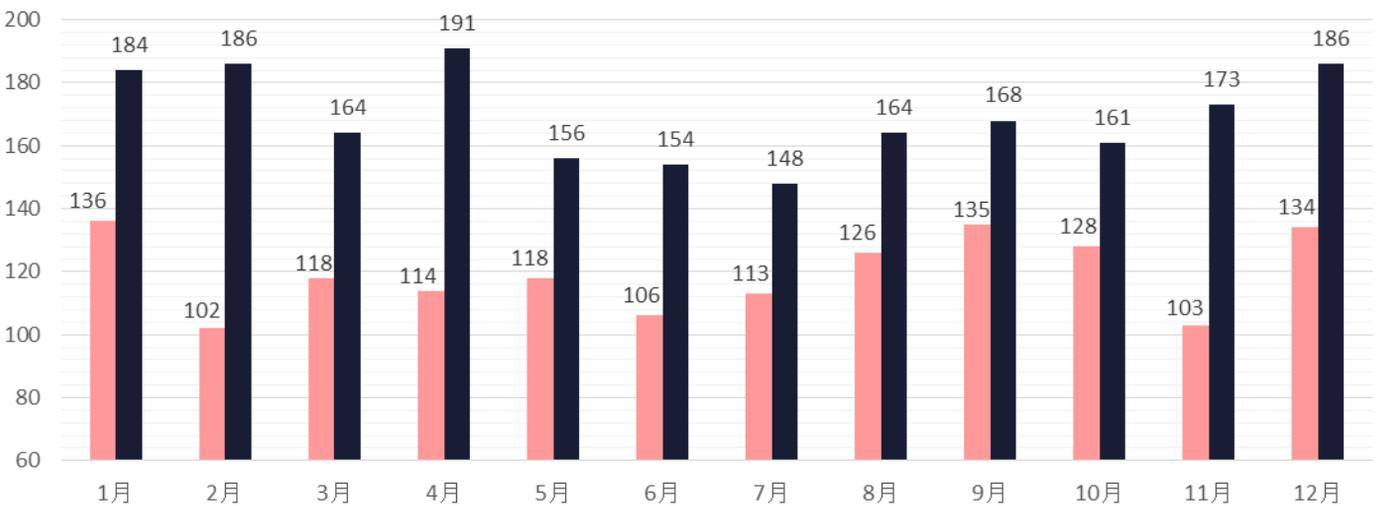
死亡者数の推移



$$\text{出生者数} - \text{死亡者数} = -602\text{人}$$

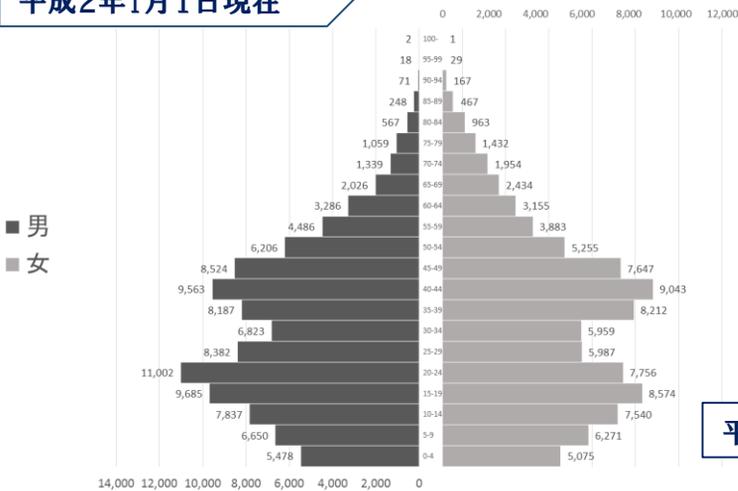
■人口動態(自然動態)の月別推移(令和2年中)(17)

人口動態(自然動態)の月別推移(令和2年中) (単位:件) ■出生 ■死亡

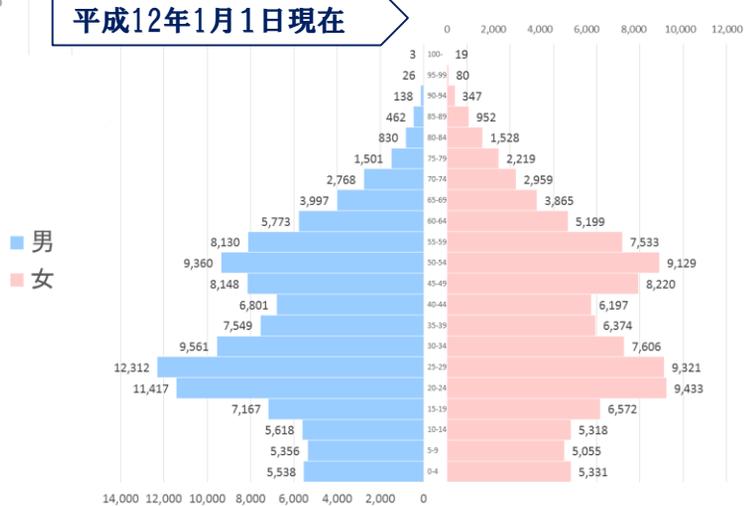


■年齢別各歳別人口の推移(県年齢別人口統計調査)(19)

平成2年1月1日現在



平成12年1月1日現在



平成22年1月1日現在



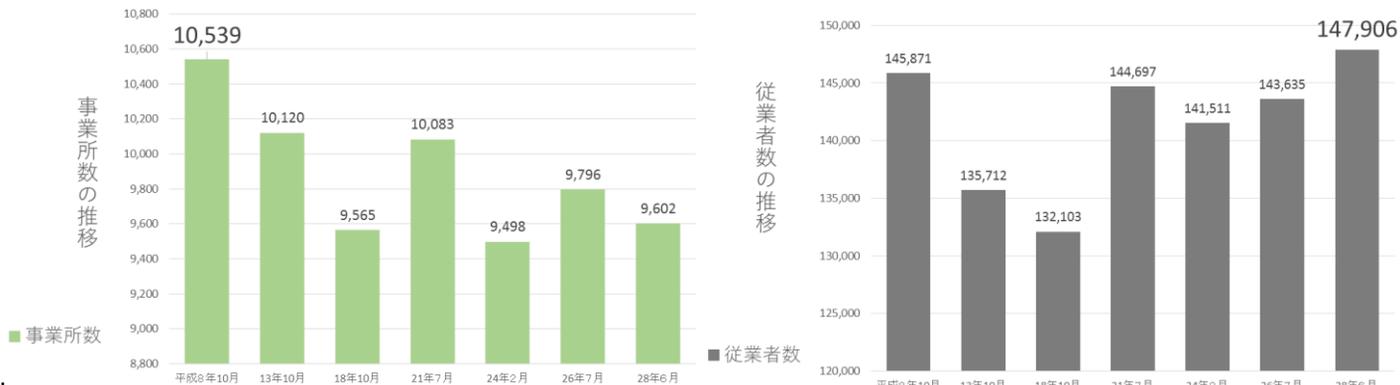
令和2年1月1日現在



20年前の平成12年と比較すると、平成12年は、20歳～24歳及び25歳～29歳の割合が高くなっていることに対し、令和2年は45歳から49歳の割合が高くなっています。

3 事業所

■事業所数及び従業者数の推移(29)



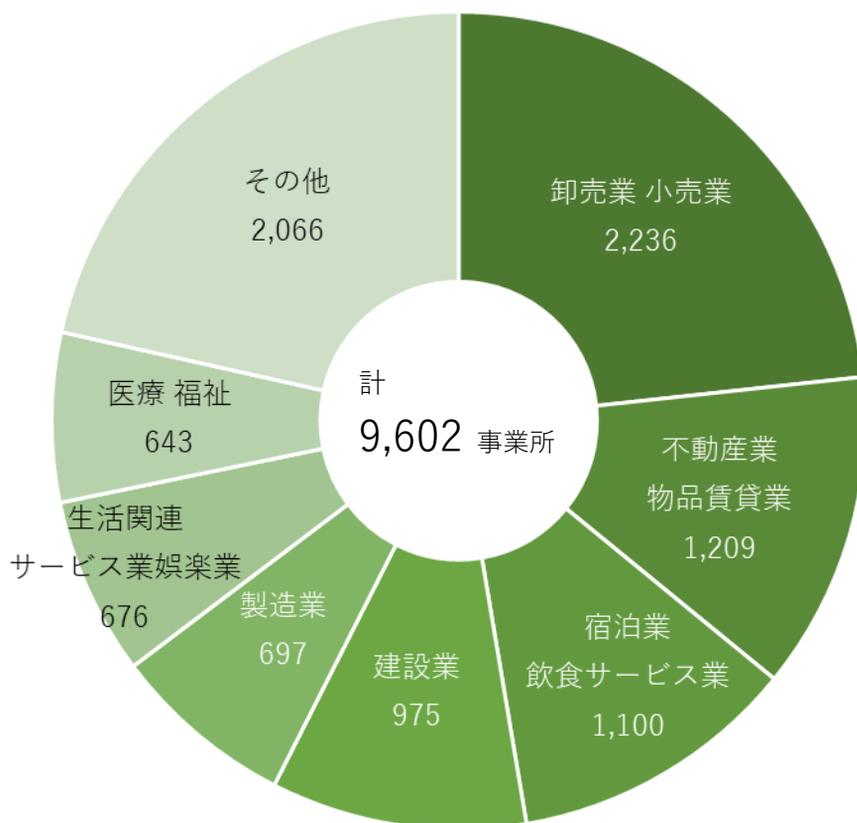
平成26年から事業所数が減少している一方で、従業者数が増加しています。

下記グラフも併せて見ると、**従業員規模の大きい事業所**が増加していることがわかります。

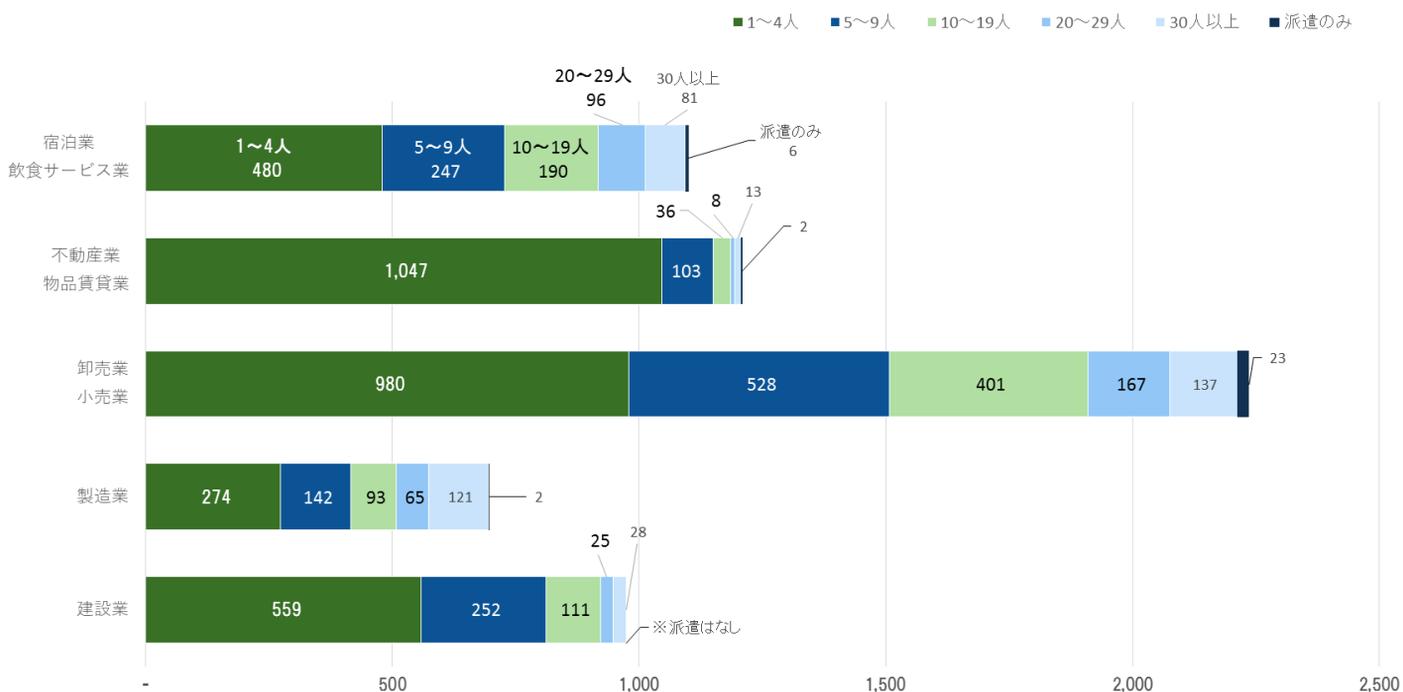
■従業員規模別事業所数(32)



■産業大分類別事業所数(平成28年6月1日現在)(31)

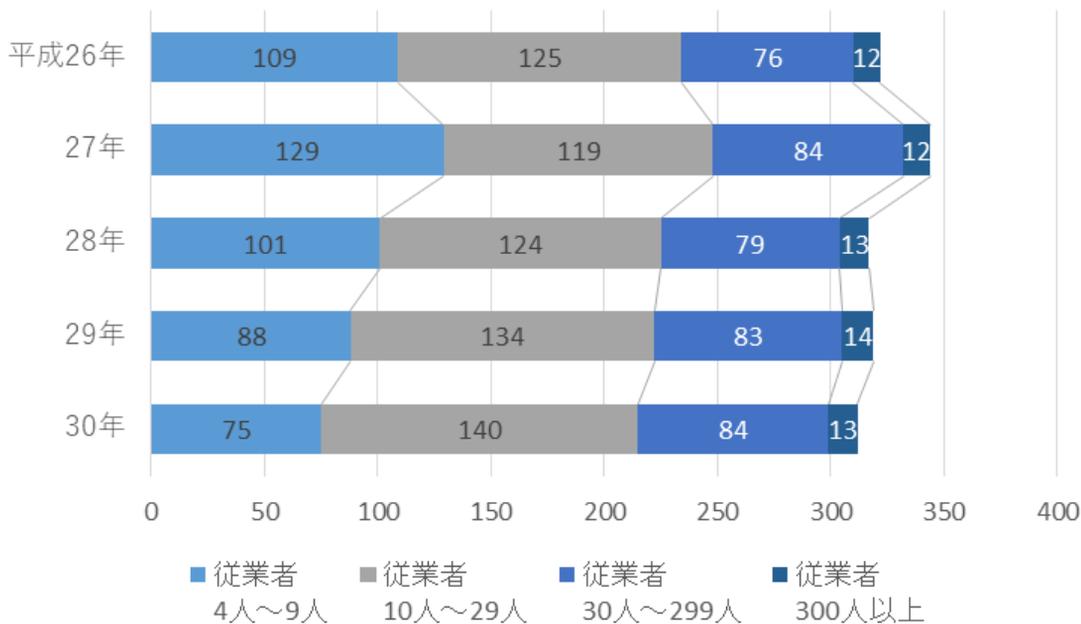


■産業大分類別従業者数規模別事業所数(市内シェア上位5分類)(32)

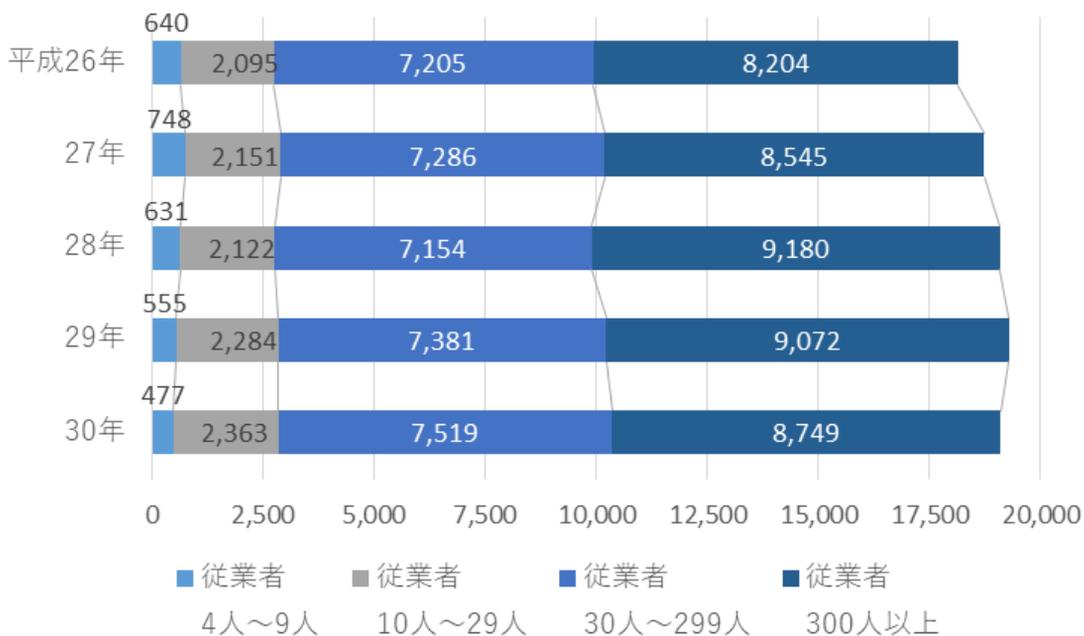


4 工業

■従業者規模別事業所数の推移(35)



■従業者規模別従業者数の推移(36)



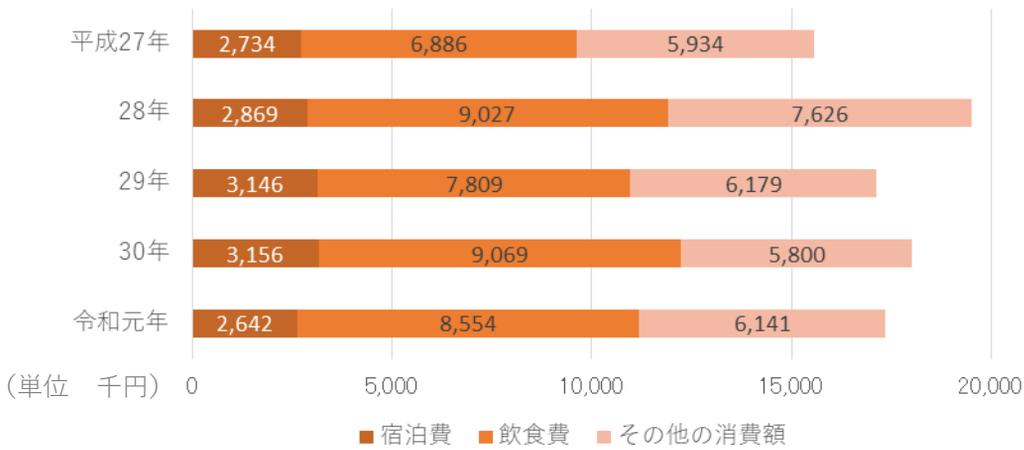
従業者4～9人を見ると、平成27年に増加しそれ以降は減少傾向が見られます。一方で従業者10人～29人と30人～299人の事業所については、増加傾向が見られます。

■観光客数及び消費額(53)

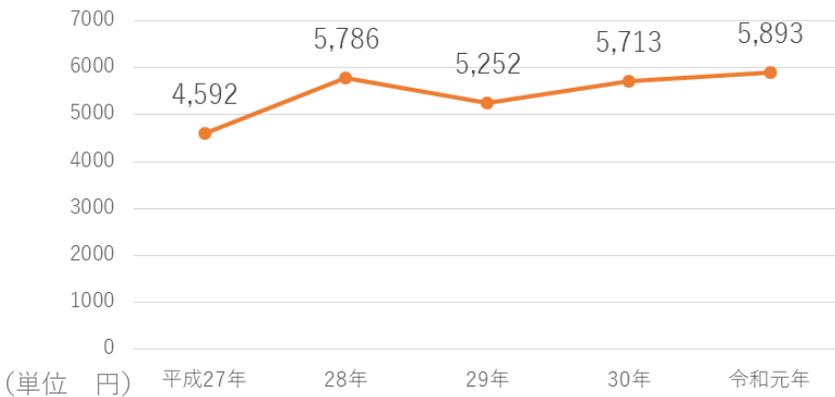
観光客数の推移



観光客消費額の推移



1人当たりの消費額

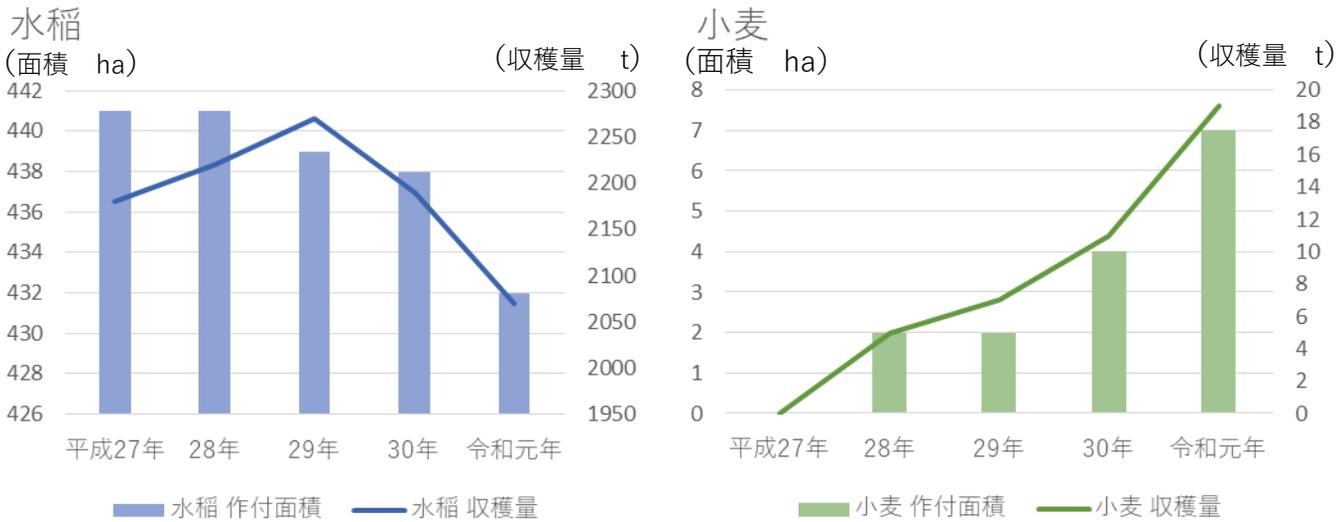


観光客数と観光客消費額を比較すると、一人当たりの消費額が微増していることがわかります。

(観光客消費額 ÷ 観光客数)

6 農林業

■水稲・小麦作付面積及び収穫量(69)



水稲の作付面積・収穫量が減少している一方、小麦では平成28年と令和元年を比較すると作付面積で約3.5倍、収穫量で約4倍と大幅に増加しています。

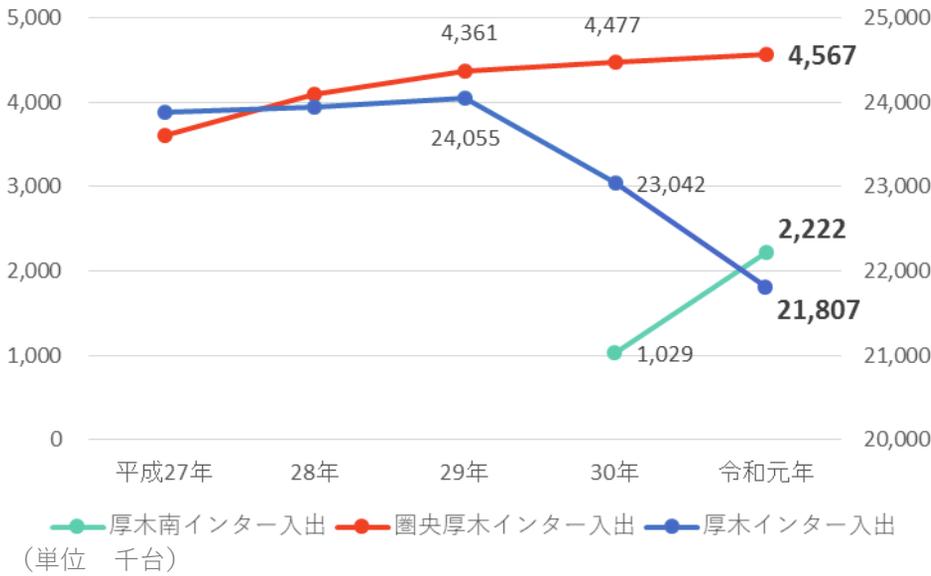
8 交通・通信

■市内鉄道利用状況の推移(本厚木駅・愛甲石田駅)(78)

令和元年度の公共交通機関利用状況で、増加しているのは電車利用の愛甲石田駅のみ。本厚木駅乗降車人員をはじめ、市内タクシー及び市内バスの利用状況はいずれも平成30年度から大幅に減少しました。



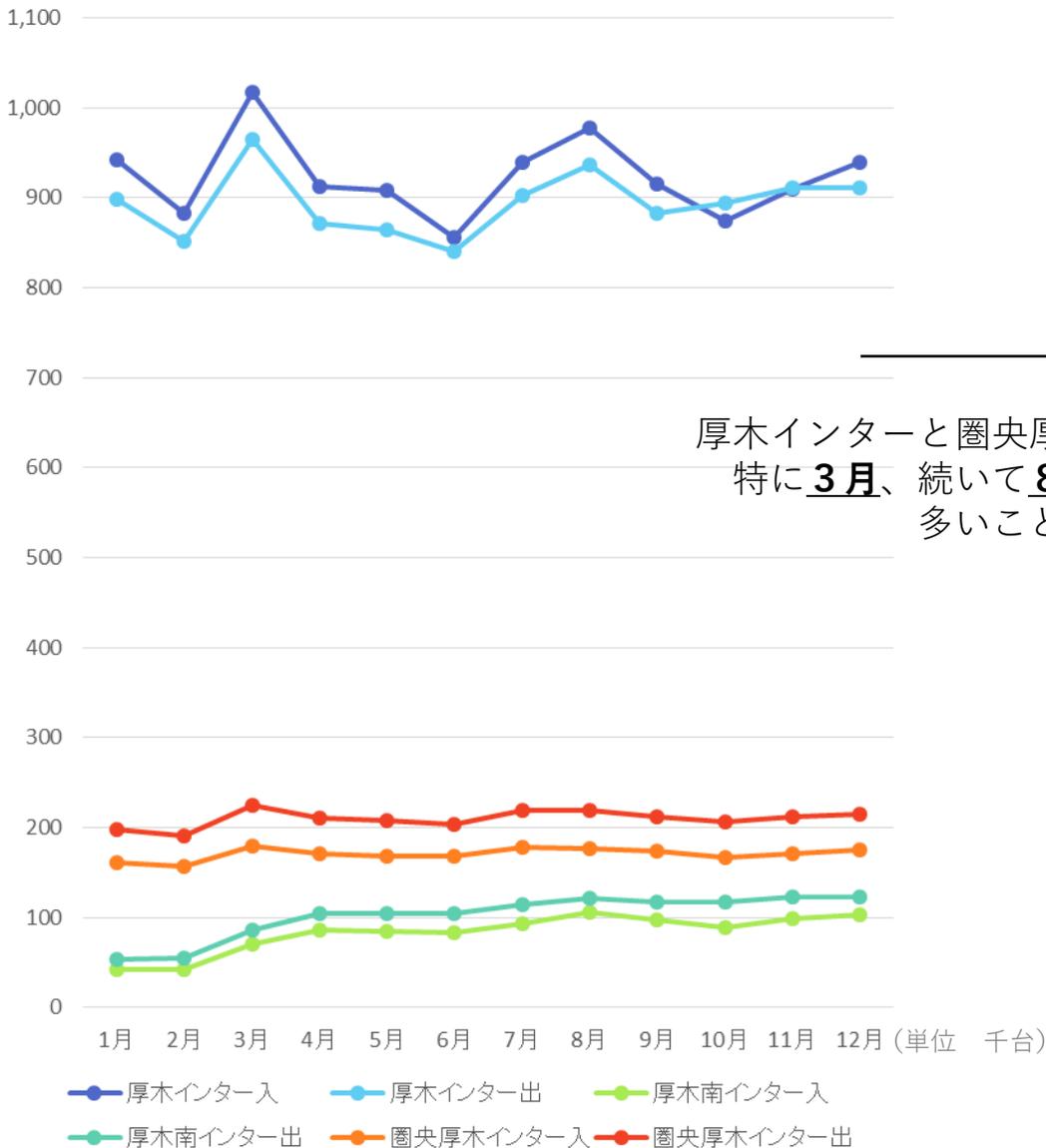
■高速道路インターチェンジ利用状況の推移(84)



高速道路インターチェンジの全体での利用台数は年々増加している一方、厚木南インターが開通してから、厚木インターの利用台数が減少しています。

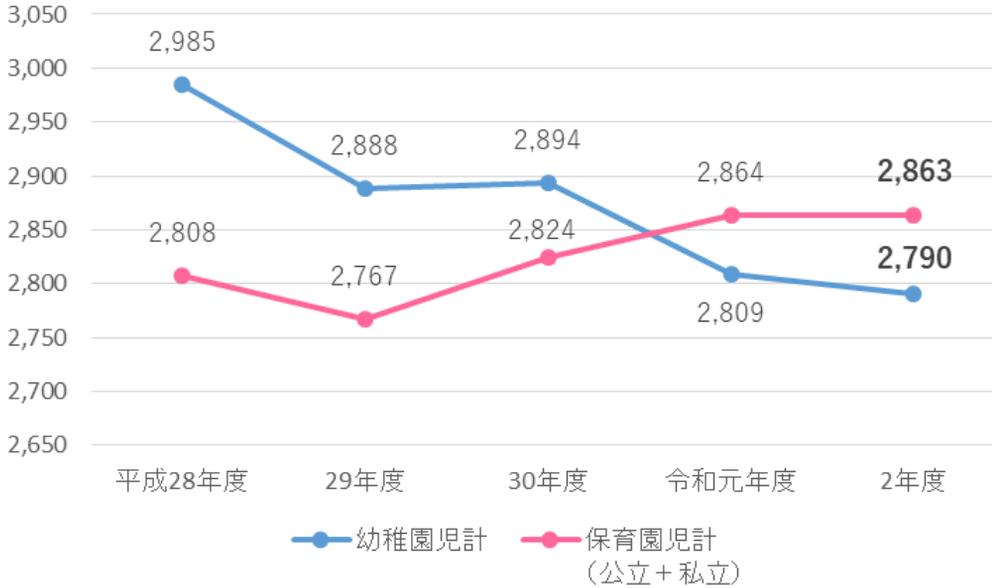
※厚木南インターは平成30年1月28日開通

■平成31年(令和元年)月別利用状況の推移(84)



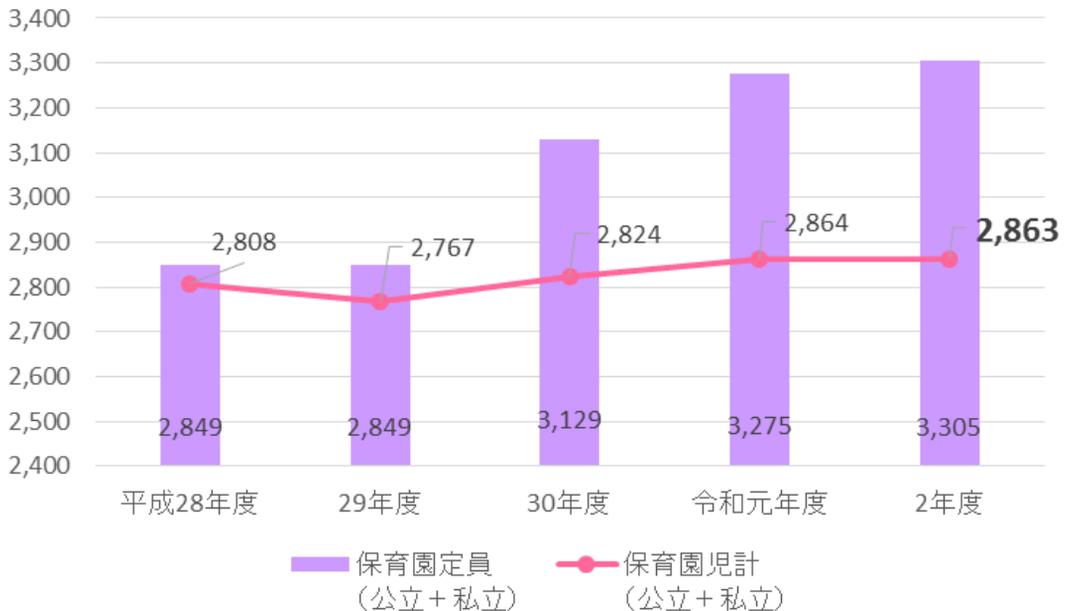
厚木インターと圏央厚木インターでは特に3月、続いて8月7月の利用が多いことが見られます。

■保育園児数及び幼稚園児数の推移(121、177)



令和元年度で保育園児数が幼稚園児数を上回り、令和2年度でも同様の傾向の結果となりました。

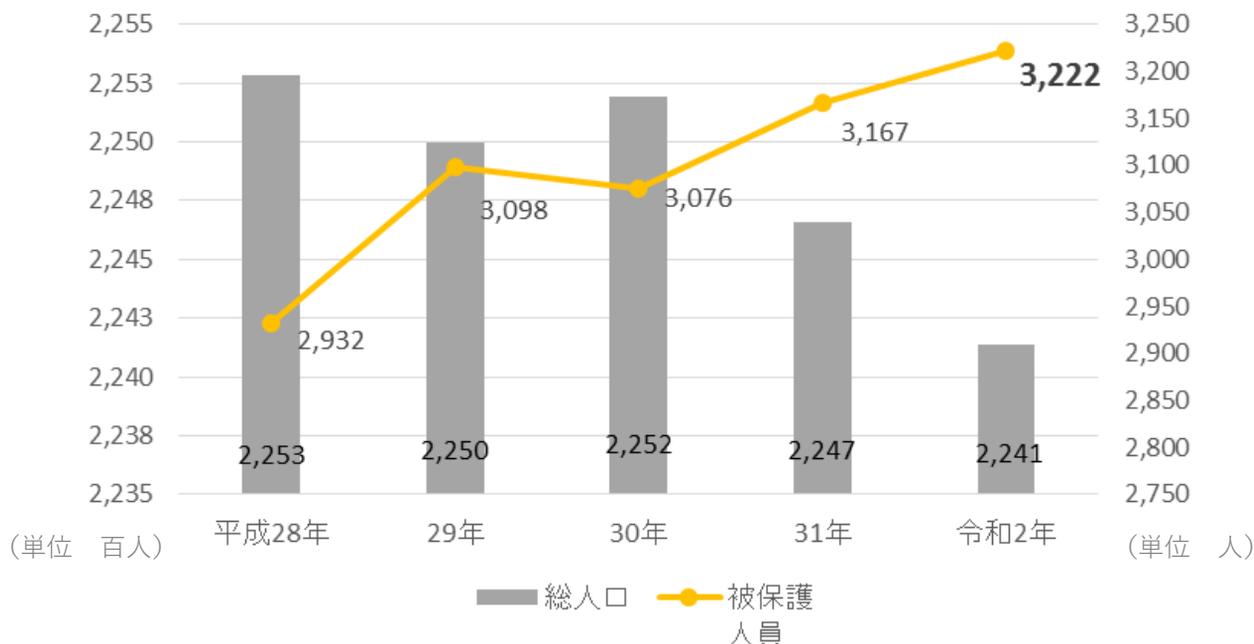
■保育園児数及び保育園定員の推移(177)



平成28年度では保育園児と保育園定員がほぼ同じでしたが、その後定員が増加し続けています。平成30年、平成31年の2年で6園の保育園が設立されました。

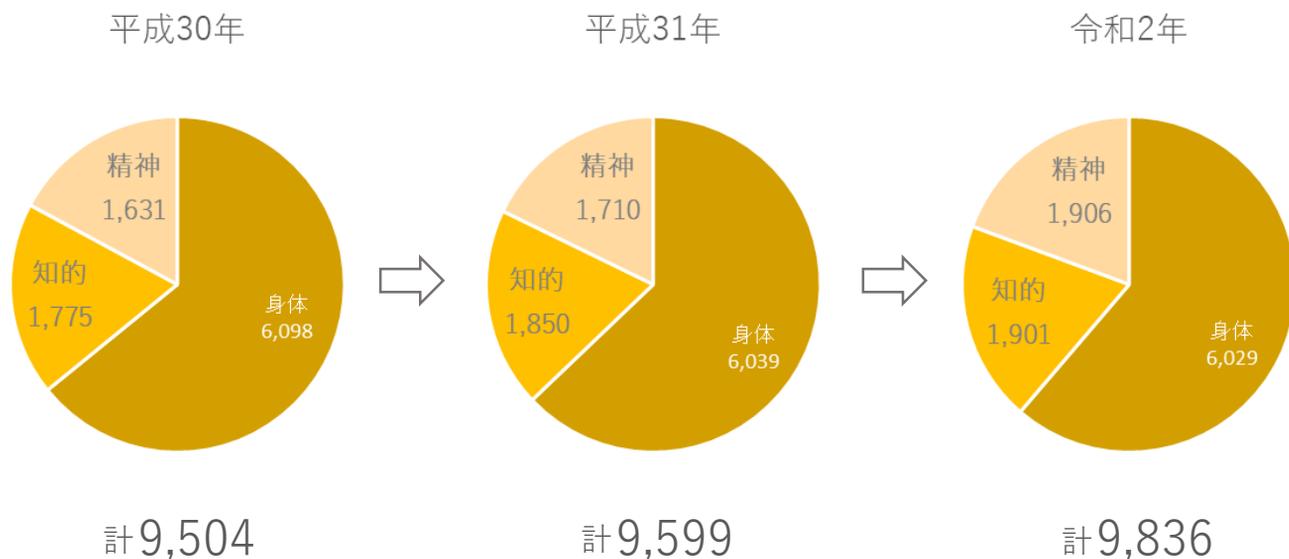
■生活保護者数の推移(175)

平成30年から令和2年の推移を見ると、人口の減少傾向に対し、生活保護者数では増加傾向が見られます。

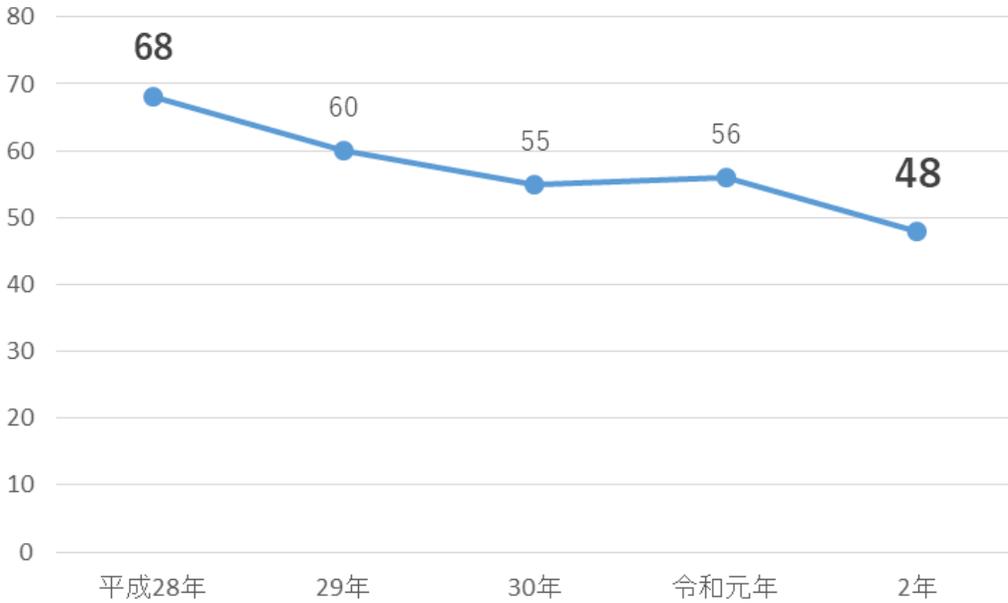


■障がい者数の推移(180)

障がい者数は全体でゆるやかに増加しており、内訳としては知的障がい者と精神障がい者が増加しています。

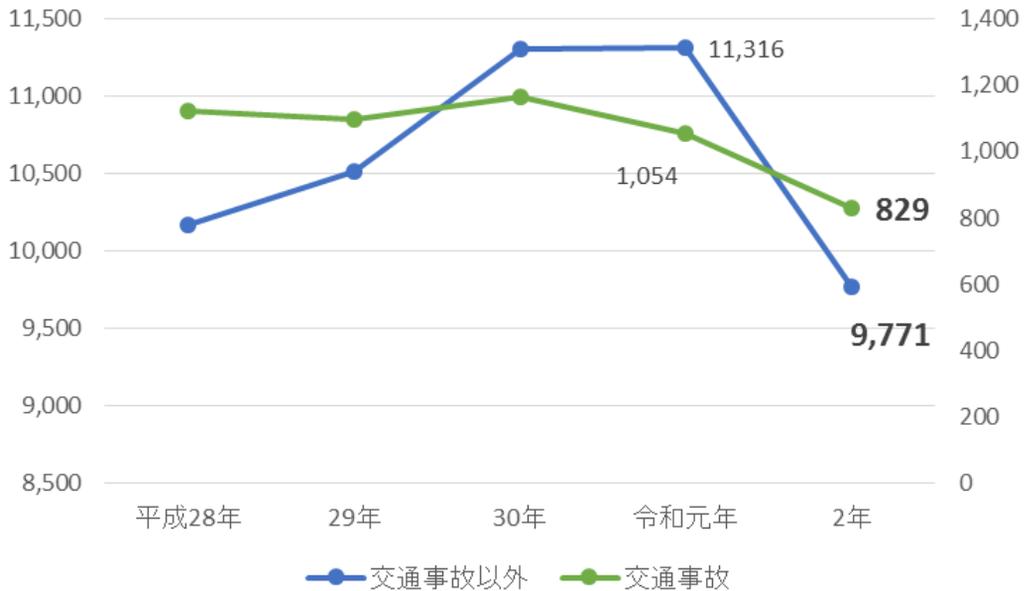


■火災発生件数の推移(221)



令和2年の火災発生件数は、平成28年から約30%減少していることがわかります。

■救急業務出動状況の推移(225)



交通事故と交通事故以外の数値がそれぞれ減少しています。総件数で比較すると、令和元年から令和2年で約15%減少しています。

グラフで見る統計あつぎ

—令和2年版—

令和3年4月 発行

令和3年4月 編集

発 行 厚 木 市
編 集 厚 木 市 政 策 部 行 政 経 営 課
厚 木 市 中 町 3 丁 目 1 7 番 1 7 号
電 話 (046) 225-2180 (直通)
F A X (046) 225-3732
